

廃棄物になっていたものまで、資源として使いつくそう。ゼロエミッション型製鉄所へ。
捨てずに使えば、おいしい惣菜になる大根の葉っぱのように。新日鉄もまた、鉄をつくる工程で生
じる発生物、その最終処分量ゼロの達成をめざしています。たとえば、大量に発生するダストは、
亜鉛が含まれているため再利用が困難でした。そこで、私たちはこのダスト中の亜鉛を分離して
回収し、純粋な鉄分を高炉原料にする技術を開発。省エネルギー、省資源の実現とともに、埋立処
分も大幅に減らします。捨てるもののない製鉄所へ、また一步。もう、その実現は夢ではありません。

* 製鉄余剰ダストの高炉原料としての再資源化技術、平成13年度 省エネルギー優秀事例全国大会で経済産業大臣賞受賞。

私たちのお手本は、
大根の葉っぱです。
新日鉄。

